

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備修繕事業(国補)]	事業箇所	甲府市 飯田	地区名	(一) 中下条甲府線 (飯田工区)	事業主体	山梨県
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 一般県道中下条甲府線は、甲斐市中下条から県庁所在地である甲府市中心に至る重要な路線であり、第二次緊急輸送道路に指定されている。沿道は、商店や住宅、オフィスなどで街並みが形成されており、周辺には県立大学や県立中央病院、甲府市地域防災計画上の指定避難場所に位置付けられている城西高校、舞鶴小学校等の公共施設が立地している。 本路線の防災機能の向上や歩行者等の安全で快適な通行空間の確保を図るため、引き続き電線共同溝を整備する必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○都市災害防止 緊急輸送道路指定 有り (第二次緊急輸送道路) 自動車交通量 11,196台/12h(H27㌔) > 3,428台/12h以上※ 他事業との連携 整備済み区間に連続する区間 有り ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の通行空間の確保 歩行者、自転車利用者数 2,829台/12h(H27㌔) > 93台/12h以上※ 自動車交通量 11,196台/12h(H27㌔) > 3,428台/12h以上※ 主要駅 (甲府駅) からの距離 0.9km < 概ね1km以内※ 他事業との連携 有り (歩道フラット化) ※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 ○被災時の被害波及の防止 ○ライフラインの強化</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地域の重要な生活道路であるとともに、甲府市と甲斐市を結ぶ幹線道路であり、第二次緊急輸送道路に指定されていることから社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) ○ <input type="checkbox"/></p> <p>電線共同溝の整備等に関する特別措置法第5条により、道路管理者が電線共同溝を建設することとなっている。また、当路線は県道であり県が行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性 ※電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定が無いため不算出。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 ○ <input type="checkbox"/></p> <p>第7期無電柱化推進計画に位置付けられた未整備区間を整備するため、現地の状況に即した事業規模である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 ○ <input type="checkbox"/></p> <p>現場条件等から採用可能な電線共同溝方式としている。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 ○ <input type="checkbox"/></p> <p>無電柱化による環境への負荷はない。</p> <p>⑦事業計画の熟度 ○ <input type="checkbox"/></p> <p>第7期無電柱化推進計画における事業箇所として、電線管理者と協議が行われており熟度が高い。</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク: a]</p>			
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 電線共同溝工 L=500m (両側L=1,000m)</p> <p>②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和10年度</p> <p>④総事業費 約650百万円 (国費378百万円(5.83/10)県費272百万円(4.17/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p>				<p>(4) 事業位置図等</p>  <p>電線共同溝 R2~R10 L=500m (両側 L=1000m) 整備中区間 H23~R2 L=430m (両側 L=860m)</p> <p>丸の内2丁目交差点</p> <p>凡例 今回評価箇所 (Red line) 整備中箇所 (Yellow line)</p>			
<p>令和2年度 測量・詳細設計 20 百万円</p> <p>令和3年度 用地補償 30 百万円</p> <p>令和4年度 電線共同溝工事 100 百万円</p> <p>令和5年度 電線共同溝工事 100 百万円</p> <p>令和6年度 電線共同溝工事 100 百万円</p> <p>令和7年度 電線共同溝工事 100 百万円</p> <p>令和8年度 電線共同溝工事 100 百万円</p> <p>令和9年度 連系・引込設備工事 50 百万円</p> <p>令和10年度 舗装工事 50 百万円</p> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 丸の内~宝工区 L=430m (両側L=860m) H23~R2 550百万円</p>							

